

古地図で めぐる 太宰治の ルーツ

太宰治が住んでいた頃(10歳頃)の金木地区の様子です。現在と見比べながらまち歩きをお楽しみください。

現在は太宰治記念館「斜陽館」となっているのが、地図中央付近にある津島家の大邸宅。周囲には、銀行や郵便局、そして多くの商店が集まっていました。この町自体が経済的に豊かであったことは、「明治館」「中村旅館」といった宿泊施設や料亭「岩多楼」の存在が示しています。

主な街道は、現在とあまり変わらないように感じられますが、大きく違うのは鉄道。津軽鉄道はこの時、開業していません。この地図に走る路線は「津軽森林鉄道」。青森ヒバ材を輸送するために敷設され、日本で最初の森林鉄道として昭和42年まで活躍しました。実際に運行した車両は、芦野公園に近い「金木歴史民俗資料館」の前庭で保管されています。

